

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホーム ひまわり荘

作成日: 令和7年6月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	再度全職員で理念を持つ言葉の意味を深め、理念の意味合いを再確認し、機会づくりにより、さらに実践につなげることを期する。	理念の意味合いによりスタッフの行動を促す機会をつくり、理念を深め、リレスタッフ全員に情報共有していく。	スタッフ自身が理念を深め、リレ現場において、尊重や自主性をめざすように、情報共有していく。	6ヶ月
2	2 (2)	日頃より、地域に開かれた事業所として、理解・協力をもたせよう。積極的に地域に働きかける取り組みの再検討を期する。	積極的に地域行事や祭りに参加し、地域に理解・協力をもたせよう。開かれた事業所をめざす。	施設で具体的に出来ることや利用者が参加できることを探り、事業所を認識してもらえよう。協力していく。	12ヶ月
3	10 (6)	家族も事業所運営の一員である。ケアだけでなく運営についても事業所から家族に働きかけを行い、意見を反映工夫に期する。	早急に運営推進会議の開催日を検討する。会議内容も伝え、意見も反映できるように工夫する。	運営推進会議の開催日を早急に設定する。出席できる可能性を高める。参加できない家族へは手紙などで意見を伝える環境を作る。	4ヶ月
4	26 (10)	日々の言動が介護計画につながる。一貫性のある言動計画にすることが必要となるよう、検討する。ことに期する。	日々の言動が一貫性のある介護計画につながるものとして、次のステップアップにつなげていく。	介護計画に即ち、具体的などうサポートすればよいのかをみつけ、次のステップアップにつなげていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の版を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。